

令和5年度 第1回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立米子白鳳高等学校
開催日時	令和5年7月7日 13時から14時30分
会 場	鳥取県立米子白鳳高等学校

(1) 学校長挨拶

(2) 自己紹介

(3) 学校運営協議会規程について(教頭) 提案→承認【資料1～2】

(4) 学校運営協議会の会長及び副会長の選出について(校長) 提案→承認

(5) 米子白鳳高等学校の現状について(校長)【資料3～4】

委員 卒業生は社会生活を自立して送っている。卒業時に成長が感じられる。

委員 郷土芸能部を設立時から指導しているが、表情が出る生徒が増えている。10年前は目線が合わない生徒がほとんどだったが、今は目線の合う生徒が増えた。

委員 和傘づくりの指導を長年している。はじめは話を半分くらい聞いていないが、徐々に真剣に作業に取り組むようになり、最初と最後では目の輝きが違う。10ヶ月後の授業の最後にはよかったと言う。傘の仕事に就きたいという生徒もいたが、なかなか続かない、後継者が出来ないのが現状である。

委員 西部の中学校の間では米子白鳳高校は面倒見のいい学校と言われている。中学時代にはコミュニケーションを取ることが苦手だった生徒が、卒業後に中学校に来ていろいろな話をする事が出来る。大切に育ててもらっていると感じている。

(6) 令和4年度学校運営協議会委員からの提言について(教頭)【資料 5】

(7) 令和5年度年間評価計画について(教頭)【資料 6】

(8) 令和5年度自己評価表について(教頭)【資料 7】

委員 以前自己評価表に学校業務改善の部分がそぐわないのではという話があった。時間外業務を減らすというよりはICT等の活用で生徒に効率よく刺激を与え、学校を見直すきっかけにしてほしいという意図もあったようだ。

(9) 令和5年度県立学校裁量予算について(教頭)【資料 8】

校長 生徒の卒業後を見据えて、社会に出てから役立つスキルを身につけられるような事業を実施している。

委員 卒業後地元へ帰るよう、地元、淀江の良さ、鳥取県西部でどのような活動をしているかなど、ふるさとキャリア教育を絡めて、社会の成り立ちを学んでほしい。

(10) 令和5年度県立高等学校重点校制度に係わる事業について(教頭)【資料 9】

校長 多様性、価値観のずれが保護者と学校との間に生じてきており、学校が合わせている状態である。特別支援教育の視点に基づいた教育活動のニーズが多い。「県立高等学校重点校」制度の重点項目をさらに2年間、「特別支援教育重点校」として継続したいと考

えているかどうか。

委員 中学校と連携し、切れ目のない支援が必要であり、継続してほしい。少しずつ成果が見え始めていると思う。

(11) 学校運営への提言について(各委員)

委員 価値観が家族内でも異なる。卒業後社会に出る時に心配である。中学校で支援学級に入っており、同級生とコミュニケーションが難しかった。高校に入学して、友達ができ、アルバイトを始めたがすぐにやめてしまったなどの例を聞く。長い目で見守りたい。

委員 米子白鳳高校は、不登校の生徒が安心して通える学校というのが設立の経緯だった。コミュニケーションがうまくとれない生徒に寄り添っていく、特別支援はなかなか理解してもらえない、どういうものかわからない人もある。いかに育てているか社会に知らしめていくことがこの学校の役割ではないか。西部地区の拠点校として、他校の教員に理解させることが必要ではないか。

委員 地元の良さを教え、将来誇れるようにしたい。地域資源の活用方法を中学校の参考にしたい。保育・地域の連携(保育実習・彼岸花植栽など)のほかに、小中高の連携はどうか。

委員 地域の取り組み、一人ひとりに寄り添った指導をしていることが多いと思う。独自事業が80万円の減となっている。取組が行えるよう、減額しないでほしい。

委員 郷土芸能部の指導を長年している。淀江中学校卒の生徒が増えた。中学生の頃と比べると自信を持ち成長している。社会に出てからも「米子白鳳高OBです」と自信を持っていえる生徒が増えてほしい。

委員 地域を通じて体験的活動を進め、自分の居場所を作り地域の一員となり自尊感情を育てていることがわかった。こども園と米子白鳳高校の交流はとてもよい刺激となっており、こどもたちが楽しみにしている。こどもたちが成長したときに地域の中でつながっていくことを願う。

委員 和傘作りを通じて地元の小中高校生に淀江には素晴らしい工房があるということを知ってもらいたい。

委員 父は画家で、作品は博物館等にある。(1916-1969 洋画家) 淀江の地に思い入れが強い。いろいろ協力していきたい。

校長 学校の行事等の様子はホームページに載せているので見ていただきたい。生徒理解、学校自体を見ていただいて提言をいただけたらありがたい。

(12) その他

○令和6年度使用教科書選定について(定時制課程・通信制課程資料)

→教科書選定について、特に反対等の意見はなし。

○令和5年度鳥取県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会の案内

→令和5年10月19日(木)10:30~14:10 本校で開催(案内送付予定)。

○第2回学校運営協議会 令和5年10月31日(火)午後開催予定

○第3回学校運営協議会 令和6年1月27日(土)午後開催予定

定時制課程授業参観および学校案内(会議終了後)